

市の重点課題	学校の重点項目	自己評価	達成状況	学校関係者評価委員会から	改善の方向
希望あふれる未来を自ら拓く力を育むための教育課程の編成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今まで以上にロイロを使って授業や家庭学習について交流を行い、仲間と学び合うことができるようにする。</li> <li>・子ども達の主体的な学習につながるような課題設定や追究場面等について見直す。特に、班等で対話的な学びができる場面を増やし、自分の考えを話すなどの表現活動の工夫についてはさらに授業改善を図る。</li> <li>・理解に困難さのある子どもに寄り添いながら、より分かりやすい授業となるよう、タブレット端末を有効活用しながら工夫・改善を行う。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・班等で対話的な学びができる場面を増やし、自分の考えを話すなどの表現活動の工夫について授業改善を図ることで、仲間とのつながりがもてるようになってきている。</li> <li>・自ら追究できる課題設定や交流活動、学習した足跡の記録を残すために、ロイロノート有効活用ができた。</li> <li>・子ども達の家庭学習や自己肯定感の向上に向けて、組織的に工夫し、学年通信等を通して家庭との協力を啓発することができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習課題に対して自分で考え、解いたことについて学び合いができています。人に教えて学習内容を深めている。</li> <li>・子どもから子どもへ伝えたり、聞いたりすることで人間関係が育まれている。</li> <li>・読書感想文で読む力、書く力の育成に努めているが、子どもたちが家庭での読書に興味をもち、習慣化できるように工夫をするなどよい。読みやすいマンガから入り字の多い本へつなげていくことも一つの方法である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・来年度も学年で相談しながら、意識して学び合いを位置づけ、関わり合って子どもの学びを深めるようにする。</li> <li>・子どもたちが考えた西郷すてき宣言に「学び合い」があるので、今後も大切に推進していく。</li> <li>・どの子どもも、家庭学習や自己肯定感の向上に向けての取組ができるように、さらに家庭の見届けの協力を依頼する。</li> </ul>
コミュニティ・スクールの機能の充実と岐阜市型小中一貫教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も学校運営協議会を核とした学校への支援をお願いしていく。</li> <li>・それぞれの取組を地域の方と連携し、改善しながら継続しつつ、今後もその成果を家庭や地域に発信するように努める。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の方や施設と積極的に連携し、キャリア教育、総合的な学習の時間や生活科、家庭科などで多くの支援をしていただけた。また、地域の方々と接する中で、多くのことを学び、感謝の気持ちをもって活動することができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も、西郷地域の方々と接する中で、多くのことを学び、感謝の気持ちをもって活動することができるように教育活動を進めていくことを大切にします。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・より地域、家庭との連携を行い、教育活動における支援をお願いし、学びや活動がより深まることで子どもたちの生き抜く力がつくようにしていく。</li> </ul>
あたたかさとしながいあふれる学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼保子ども園からの情報を十分に踏まえ、子どもに寄り添った指導を今後も継続する。さらに、小中の連携も深め支援や配慮に役立てる。</li> <li>・ホームページや学校だより等を通して学校の様子を家庭へ伝え、教育活動への理解を深めていく。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼保子ども園からの引き継ぎの内容を踏まえて、支援や配慮に役立てることができた。また、小中の連携も深め支援や配慮に役立てることができた。</li> <li>・本年度も、ホームページや学校だより等だけでなく、授業参観や学校行事の参観等を通して、子どもの活動の様子や取組の具体的な内容を広く家庭や地域に伝えることができた。</li> <li>・教育課程・月行事・週時程・職員の労務負担を見直し、一部の職員に負担がかからないように取り組めるようになってきている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スマート2学期制導入によって「かかわり」「学び合い」を重点とする教育活動や学校行事等の効果的な位置づけを行おうとしているのが分かった。</li> <li>・保護者と連携し、児童に寄り添う教育相談の充実を考えていることが分かった。(毎週、教育相談の日・定期：教育相談週間・6月希望性教育相談週間)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仕事の効率化を進めながらも充実した内容になるように子供に寄り添った指導や保護者、地域、専門機関との連携を深めていく。</li> <li>・保護者と連携し、児童に寄り添う教育相談の充実。(毎週：教育相談の日・定期：教育相談週間・6月希望性教育相談週間)</li> <li>・カリキュラム・オーバーロードの軽減(上限1086時間の設定)を行う。低学年担任による高学年出張授業を行う。</li> </ul>
災害、事故、感染症、生徒指導事案等に対する安全性の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・登下校時の安全確保や災害時での対応等、今まで以上に子ども達一人一人の「自分の命は自分で守りぬく」意識を高め、実践につなぐことができるよう指導を継続する。</li> <li>・危機管理マニュアルの理解と研修と実践を重ねることで全教職員が緊急事態に対応できるように、PDCAのサイクルを生かして改善に取り組む。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校区の自治会と連携を図った引き渡し訓練の実施、命を守る訓練や引き渡し訓練など意図的・計画的に年間を通して実施し、「自分の命は自分で守る」意識を高めるための事前・事後指導をすることができた。</li> <li>・大雪、大雨などの緊急時、緊急時の想定を行い、危機管理対応マニュアル等をもとに、実際に一人一人の命を守るための行動を取ることができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・来年度、通学路点検プログラムを利用して登下校の安全確保に地域・保護者・学校・児童で協力して取り組んでいく。</li> <li>・学校が避難場所として利用できないことを想定して新たな想定による命を守る訓練を、家庭・地域・学校が連携して行っていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害の状況やより実際の状況を想定した実践になるように改善を行い、マニュアルを見直していく。</li> <li>・今後も、登下校時の安全確保や災害時での対応等、今まで以上に子ども達一人一人の「自分の命は自分で守りぬく」意識を高め、実践につなぐことができるよう指導を継続する。</li> </ul>
教育環境と学校財務環境の整備及び効果的な活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校だけでなく、家庭・地域のどの場面でも、子ども達の物を大切に使う気持ちやよさが発揮できるよう、さらに連携を深める。</li> <li>・PTAや地域の協力を得て、施設・設備等の環境整備を進めていく。</li> <li>・全教職員の危険箇所や異物への危機意識を強く持ち続けることを継続する。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・、日常から全教職員で気付いた箇所を速やかに修繕し、毎月の安全点検によって安全な環境整備に努めることができた。</li> <li>・全校で掃除について考える日を通して、美しく掃除をする習慣が身に付いてきている。</li> <li>・学習に集中できる環境整備をするために、教室の前面や側面等の掲示について精選することができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・PTAの協力により、ゆめ学ノートの掲示物が作成されている。今後も継続し、子どもたちの主体性を伸ばしていくことを大切にしたい。</li> <li>・地域の力、PTAの力を合わせてボランティア活動を計画し、環境整備に努めていきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全な環境を維持するため、今後も安全点検などで早期発見・早期対応を行っていく。</li> <li>・学校だけでは環境整備を行えないこともあるので保護者や地域の方の力を借りていく。</li> </ul>